

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 1月 14日

事業所名 しあわせ駅須恵

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		昔ながらの民家で室内も庭も広く十分な活動が出来ている。	
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			利用メンバーや送迎数により、余裕がない時がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		賃貸の為、難しい部分もあるが階段やトイレの手すりは設けている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		回覧や終札記録で情報共有を図っている。	出勤がまちまちなので、参加できない職員が出てくる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		年一回実施し、改善を図っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	保護者からの情報や評価を反映させ業務改善を図っている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>			研修の機会を十分に設ける事が出来ていないため、日々の新聞・書物・ネットからの情報を集め回覧している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		計画時には、アセスメントをもとに全員の意見を持ちより作成に当たっている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		新規及び年度初めにアセスメントシートを用い把握している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		雇用形態に関係なく、各自立案をできている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		各方面から情報を持ちより計画を立てて活動に反映させている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		季節やその日の状況等でそぐわなくなったり、変更を要することがあれば柔軟に対応している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		平日は帰りの会、一日利用時は日替わりの内容で集団活動を設けている。個別やペア・グループ活動も隨時行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>			出勤時間が違ったり、終日利用児がいる時などは全員参加での確認ができない時がある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		不在の職員については、終札記録や回覧で通達している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		終札記録やデイ記録を取り、振り返りができるようにしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		2人体制で臨み、児童発達支援管理責任者及び管理者のどちらかが必ず参加するようにしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		各担任を把握し、連携が取れる体制を整えている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		主治医と直接連絡を取り合うことはないが保護者を通じて情報を得ている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			相談支援事業所を通して情報を得ている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			今までに対象者はいないものの、情報提供の準備はしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			児童発達支援センターとの情報交換はしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナ禍のため出来ていない。今後計画していきたいと思う。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		コロナ禍のため、研修会や会議にはリモートでの参加をしている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳を主体に、送迎時や電話で直接話したりしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレンツ・トレーニング等の支援を行っている	○		担当者会議などの場で行っている。また個別の相談に関しては相談記録を取っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時の説明や負担変更があった時など説明している。又支援内容は支援計画に基いて報告している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		日々の相談に関しては連絡帳、送迎時、電話等で行っている。個別の相談に関しては相談記録を取っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		以前に茶話会と称して行っていたが、コロナ禍になって開催していない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		報告を受けた場合即座に管理者に報告を上げ、対応する体制を取っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		当日の活動に関しては、連絡帳を通して報告している。	定期的な会報の発行は滞っている。
	35	個人情報に十分注意している	○		書面にて誓約し、各自が自覚をもって遂行している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		基本は連絡帳を通して行い、必要に応じて直接または電話連絡をしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ禍において計画出来ていないが、一部の近隣の形との交流はある。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		ファイルにして保管し、いつでも閲覧できるようにしている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練は年3回行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		マニュアル化してファイルで保管しいつでも閲覧できるようにしている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		マニュアル化してファイルでいつでも閲覧できるようにしている。契約時には重要事項説明書にも掲げ直接説明している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者を通して情報を得て、表にして確認できるように掲示している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ファイルにして保管しいつでも閲覧できるようにしている。	